

暮らし・にぎわい再生事業計画
四万十市中村大橋通地区

平成20年4月7日

高知県四万十市

1. 再生事業計画区域

①計画区域の位置

高知県四万十市中村大橋通の一部

②計画区域の面積

約0.9ha

③区域設定の考え方

本地区は、四万十市の中心市街地活性化基本計画区域のほぼ中央に位置し、土佐くろしお鉄道中村駅からは2km程離れているものの、古くから行政、商業など様々な機能が集まり、人々の生活や娯楽、交流の場となるなど長い歴史の中で独自の文化や伝統を育み、この街の活力や個性を代表する「顔」というべき場所である。しかし、近年本市もモータリゼーションの発達など商業を取り巻く環境の変化により、中心市街地の衰退、空洞化という問題が深刻化している。

そこで本地区では暮らし・にぎわい再生事業の都市機能導入支援により老朽化が進む図書館を建替え、本来の図書館機能を充実させるとともに展示機能を備え、音響、映像機能等の充実したライブラリーとして整備することにより、交流人口を増加させ、中心市街地の再生、活性化を図るため計画区域を設定した。

2. 総事業費

約4, 703百万円

3. 暮らし・にぎわい再生事業計画区域の整備方針

1) 再生事業計画区域が抱える課題	<ul style="list-style-type: none">・周辺商店街への来街者数の減少 T商店街1日通行量 平成7年 平成19年 (平日) 7,356人 → 1,882人(△74.4%) (日曜日) 15,560人 → 2,276人(△85.3%)・公益施設(図書館)の老朽化 昭和44年建築 築後39年経過・駐車場の不足
2) 再生事業計画区域で整備する予定の都市機能導入施設(箇条書きで記載)	<p>【整備する予定の都市機能導入施設】</p> <ul style="list-style-type: none">・図書館
3) 都市機能導入施設の整備効果	中心市街地に多くの市民が利用する図書館を整備することに加え、本施設のみならず周辺施設利用者の利便性の向上を図るための駐車場等を整備することにより、賑わいの増加や周辺商店街の振興・活性化が図られる。

4. 都市機能導入施設及び公開空地等の整備計画の概要（全体概要）

【事業概要書】

番号	補助対象施設	補助種別	補助区分	公益施設の種類 (注1)	事業期間
①	図書館	コア事業	都市機能まちなか立地支援	教育文化施設	H18-H22
②	公開空地	附帯事業	関連空間整備	—	H22
③	駐車場	附帯事業	関連空間整備	—	H22
④	—	附帯事業	計画コーディネート : 計画立案・調整	—	H19

(注1) 公益施設の種類の、暮らし・にぎわい再生事業制度要綱第2条三に定義される

「社会福祉施設」「地域交流施設」「教育文化施設」「医療施設」「その他（その他地域住民等の共同の福祉又は利便のために必要な施設で、多数の者が出入りし利用することが想定される施設）」のうちから選択すること。

※コア事業、附帯事業、その他関連事業（まち交等）ごとに記入すること。

※位置が分かるように、番号を別添1の図面に記載すること。

【事業スケジュール】

番号	H18	H19	H20	H21	H22
①	補償 実施設計	建設工事		
②					工事
③					工事
④					

(※計画作成時以降のスケジュールについて、記載すること)

5. 整備計画に従って行われる主要な事業の概要（個別）

【個別施設概要書】

番号	①	施設名	図書館	事業期間	H18～H22
補助種別			コア事業	補助区分	都市機能まちなか立地支援
階数	地上7階 地下1階		構造	耐火構造	
敷地面積 (㎡)	8,676㎡		延床面積 (㎡)	9,858㎡	
施設用途（都市機能導入施設の概要）					
教育文化施設・その他					

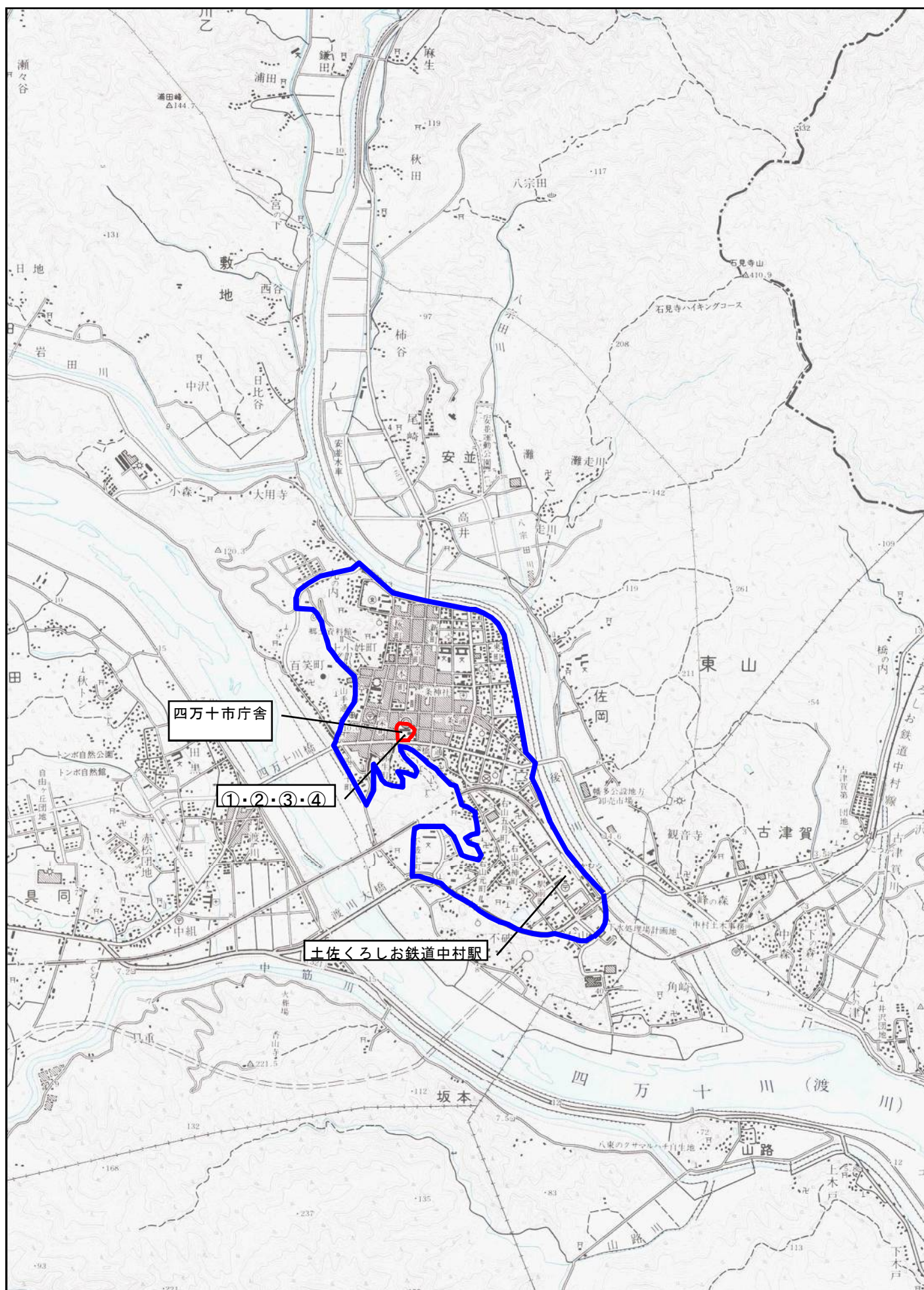
番号	②・③	施設名	公開空地・駐車場	事業期間	H22
補助種別			附帯事業	補助区分	関連空間整備
階数	—		構造	—	
敷地面積 (㎡)	駐車場 (3,322㎡・101台) 公開空地 (2,467㎡)		延床面積 (㎡)	—	
施設用途（都市機能導入施設の概要）					

※②、③の敷地面積は、①の敷地面積8,676㎡の内数

6. 提出参考資料等

- ・ 位置図 . . . 別添1
- ・ 区域図 . . . 別添2
- ・ 中心市街地活性化基本計画策定状況（平成20年4月認定申請予定）

【計画区域の位置図】



【計画区域の区域図】

